

令和8年度国立国会図書館予算概算要求

(単位:百万円)

区分	令和7年度 予算額 (当初)	令和8年度 要求額	比 増 △	減 額
(組織) 国立国会図書館	20,426	22,668	2,242	
(項) 国立国会図書館	19,315	20,818	1,503	
国立国会図書館の運営に必要な経費	10,403	10,729	326	
うち人件費	10,215	10,540	325	
国立国会図書館業務に必要な経費	7,817	8,994	1,177	
科学技術関係資料の収集整備に必要な経費	1,095	1,095	0	
(項) 国立国会図書館施設費	1,111	1,850	739	
国立国会図書館施設整備に必要な経費	1,111	1,850	739	

※端数処理のため、合計が合わないことがある。

[重点事項]

()は令和7年度予算額

1. 所蔵資料のデジタル化の推進 1331百万円 (473百万円)

国立国会図書館が所蔵する多様な資料の保存と利用の両立を図るため、資料のデジタル化を着実に推進する。令和8年度以降は、2000年までに国内で刊行された雑誌のデジタル化を集中的に実施し、全文テキスト化にも取り組むことで、来館せずに利用・検索できるコンテンツの充実に対する国民のニーズの高まりに応える。

2. 照明設備改修（LED化）工事 858百万円 (68百万円)

地球温暖化対策の推進、照明蛍光灯の製造廃止への対応等の観点から、既設の照明設備を改修し、LED照明を順次導入する。おおむね2030年までの完了を目指して、計画的・継続的にLED照明の導入を進めていくために必要な経費を要求する。

[主な要求内容] 下線の項目が重点事項

(単位：百万円)

区分	令和7年度 予算額 (当初)	令和8年度 要求額	比較 増△減額	備考
1. 国会サービス経費	279	284	5	
2. 資料費・デジタル化経費	2,541	3,398	858	
(1) 所蔵資料のデジタル化の推進	473	1,331	858	国内刊行雑誌のデジタル化経費の増等
(2) 資料費	2,067	2,067	0	
3. 情報システム経費	3,139	3,447	308	
(1) サービス・業務統合システムの運用等	1,305	992	△ 313	館内サービスシステム更新経費の減等
(2) デジタル・アーカイブシステムの運用等	755	372	△ 383	国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（ＷＡＲＰ）のシステム更新経費の減等
(3) その他（サービス基盤ネットワークシステムの運用、データ入力経費等）	1,079	2,083	1,004	サービス基盤ネットワークシステムの更新経費の増等
4. 図書館業務経費	1,948	1,966	18	
5. 国際子ども図書館業務経費	266	255	△ 11	
6. 関西館業務経費	927	927	0	
7. 人件費	10,215	10,540	325	
8. 施設整備に必要な経費	1,111	1,850	739	
(1) 東京本館庁舎整備	693	928	235	照明設備改修（ＬＥＤ化）工事、防災設備改修工事等
(2) 関西館庁舎整備	418	783	365	照明設備改修（ＬＥＤ化）工事、関西館本館等エレベーター設備整備工事等
(3) 国際子ども図書館庁舎整備	0	139	139	照明設備改修（ＬＥＤ化）工事、国際子ども図書館レンガ棟衛生設備等改修設計等

※端数処理のため、合計が合わないことがある。